

2013年度(平成25年度)活動のご報告

一般財団法人セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となり環境をテーマにした社会貢献活動に取り組むことを目的に設立され、2013年11月で設立20周年を迎えることが出来ました。

2013年度、セブン-イレブン店頭に寄せられたお客様の募金総額4億5400万7883円と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金等をもとに、地球温暖化防止事業、地域活動支援事業、自然環境保護・保全事業、広報事業、災害復興支援事業に取り組みました。

地球温暖化防止事業では、森林の保護・保全活動を原則3年間継続助成する地球温暖化対策助成で13団体を支援しました。また、自らも森林の保護・保全活動を通して地球温暖化防止活動を行う「セブンの森」づくりを、2013年度は新たに3地域拡大し、全国11地域で加盟店・本部社員によるボランティア活動を14回実施しました。

地域活動支援事業では、環境市民団体の活動を支援する「公募助成」で260団体に、「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」では41団体に活動費の支援を行いました。環境活動のリーダーを育成する「第16回環境ボランティアリーダー海外研修」では、6名を選抜しドイツ研修に派遣しました。

自然環境保護・保全事業では、官民が一体となり東京湾の再生に取り組む「東京湾再生官民連携フォーラム」への支援を行い、11月には「東京湾大感謝祭」を開催しました。今後、東京湾再生を目的とした5つのプロジェクトの取り組みを開始いたします。当財団が運営する九重ふるさと自然学校では、新事業として九州の3大学と連携し、大分県九重町の自然をフィールドに、主に生物多様性を中心とした環境学習教室を実施しました。

広報事業では、生物多様性の普及啓発推進を目的に設立された「第1回生物多様性アクション大賞」を共催し、団体・個人の取り組みを表彰しました。

東日本大震災復興活動として2012年より実施している「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」は、新たに岩手県にも広げ、宮城県、福島県の被災した小学校192校に希望された花苗や樹木をお届けしました。セブン-イレブン加盟店と本部社員が東日本大震災復興活動として取り組んでいるボランティア活動も5回目となり、昨年に引続き宮城県気仙沼市唐桑町での漁業支援と宮城県大崎市の森林の保護・保全活動を行いました。

セブン-イレブン記念財団はこれからも環境をテーマとした社会貢献活動に取り組んでいきます。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。